



令和5年(2023)11月25日 第70号

高槻・五領の環境と 子どもの未来を **守る会 News**

みんなで守りたい 大好きな高槻を

むたかやま市 高槻五領地区

### 上牧春日神社秋祭りに参加して (鶺鴒のカワセミ/よし笛)

10/28、29上牧町唯一のお祭り「上牧春日神社秋祭り」が春日神社において4年ぶり(コロナ禍の為)盛大に開催されました。

上牧町の秋祭りは歴史が長く、戦前の青年団どうし喧嘩神輿から始まっていますが、戦後は青年団も無くなり形ばかり…。そんな中子ども達の為に復活に尽力され、現在の子ども神輿、山車は当初頂きものや手造りから始まり、その後継続して守って行けるお祭りをと積立を重ねられ購入されたものだそうです。残っている書面の回数を遡ると1986年が第1回ようです。

3年間中止だった秋祭りの開催を決断された役員の方々の行き宜しく、両日共に秋晴れに恵まれました。

宵宮午後4時恒例の夜店「コロッケ、唐揚げ、今川焼、焼きおにぎり、たこせん、綿菓子等々美味しさと、ゲームスーパーボールにあてももの楽しさ」開店、子供達含め多くの参加者に盛況で、終了時間を待たずして完売となる商品も！！

翌日の本宮では山車のコース変更で短縮されましたが、法被姿凛々しく子供達太鼓の練習成果発揮、お囃子の声合せて秋空高らかに響き、素晴らしい山車行列でした。

その後よし笛サークル「鶺鴒のカワセミ」我々の出番演奏、室内演奏と違って譜面台や譜面風の影響等ありましたが、何とか無事に吹き終えたところで、市長の開催祝辞のご挨拶があり、我々の演奏をご一緒に聴いてくださったとのことのお話もあり拙い演奏に冷や汗ものですが、コロナ禍でご近所さん達とも一緒するチャンスが少なかったこともあり、演奏後様々にお声掛け頂き嬉しいやら恥ずかしいやらで、緊張しつつも気持ちは頑張っておりましたので、それなりの演奏もまずまずだったのかと錯覚させられました。

夕刻ご近所の90歳代の亡き母の友人からお電話頂き、よし笛の心地よい音色素敵だったとお褒めと母の昔話を聞かせ頂いて、気持ち共にうるうるとても幸せなお時間でした。

よし笛演奏依頼下さった秋祭りの役員の方にはお恥ずかしい拙い演奏で申し訳ありませんでしたが、またご依頼頂けるよう練習重ねたいと思いますので、今後ともどうぞ宜しくお願いします。

C.Y

### 2023年鶺鴒のつる草抜き「まとめの会」に参加して



11/22(水)午後1時半、今年は3/27から始まったつる草抜きの「まとめの会」が遅れてのお仲間含めて24名参集) 雅楽協議会の鈴木さんの司会で開始、自己紹介含め丁寧にそれぞれの立場からの報告がなされました。

最初に上牧実行組合長の木村さんからお礼と共に現状の報告、鶺鴒のヨシの良さ(肉厚、芯が白い等)利用価値が高い等改めて伺い地元宝物があった事を誇らしく感じました。

途中追加資料の印刷で退室して一部ご報告を聞き逃しましたが、私の印象に残っておりますのは、NEXCO西日本のドローン撮影されたヨシ原の現在の写真が、除草を行ったエリアと手を入れていない箇所が一目瞭然、ヨシの成育が知れた事です。

また、ヨシオープンイノベーション協議会からの一般社団法人の立ち上げと共に企業誘致され「鶺鴒ヨシ原ヨシ刈り及び収穫作業ボランティア募集」のご案内で、ヨシを原料として紙や糸、消臭効果もあり様々に利用価値があることをお教え願って、本年度は筆箋のリード等に選別された後のヨシを本募集に賛同願ったお仲間刈取り、有効利用される事になっています。

私も是非とも参加させて頂こうと思っております。

ヨシを一掃してしまうと養分が不足するのではとの懸念のご質問もありましたが、ヨシは地下茎が深いところにあることから問題ないとの見解でした。まずは春先の「カナムグラ」の除草しっかりと、加えて「ヤブガラシ、オオバクサ」また、「セイタカアワダチソウ」ヨシの栄養等成長を妨げる雑草の除草を継続となりました。

人災被害になるような大雨は困りますが、雨によるヨシ原の水没は多くの栄養分を齎すことから夏場の雨の祈りと、道水路通水を定期的にとの要望と、道水路周辺の除草も依頼されました。

高槻市の街にぎわい部農林緑政課からは、五陵地区唯一の風物詩「よし焼き」の懸案事項等の説明と来年度開催に向けて確りと打合せ予定であるとのことのご報告がありました。

つる草抜きの来年度の作業開始3/31(日)を予定されており、午後から東儀秀樹さんの雅楽演奏も本澄寺で開催予定である事をお知らせ頂き終了となりました。

C.Y



「メディアテーク五領 次への一步 スタート」🍀

長年メディアテークの念願であった「本があり人が集まれてお茶を飲める場所」を、10月17日(火)13時～16時、梶原A氏宅のガレージにて今回は試しに関係者だけで開きました。出席者には楽しいひと時ではありましたが、課題も多く、また重く背負うことになりました。

まず、個人宅での開催には、思っている以上にその個人の負担が大きいことです。また、会場の持ち回りは、一般への公報の難しさもあります。今回の集まりで、次への一步を話し合いました。

朗報は、梶原地区の古民家を使用させていただけるようになるとの事です。庭も広く、立派な古民家です。これで、懸案の場所が一か所確保できました。

メディアテークは、今まで、高槻市への要望と提案を繰り返してきました。特に、五領地区に多く点在する遊域施設の活用を訴えてきましたが、市からはゼロ回答でした。ここでの結論は、この地域のことは地域の住民で解決するしかない、そして、我々の力で出来ることを始めよう。まず、その一步へ踏み出そうという事です。

メディアテークは今、4つのグループに分かれて活動しています。各グループの目標は、

- ① 「ほっこりしたコミュニティを形成する。
- ② 「本の魅力を知って親しんでもらう。」
- ③ 「埋もれた地域の魅力を発掘し、発信する。」
- ④ 「地域の人々にとって有益な情報提供をする。」

この目標にむけて、具体的な活動を始めました。例えば、①では、地域の中に点在する集いの「場」を作ろうとしています。10月の集まりはそれの試運転でした。また、開催場所も前記の古民家の他に、阪急上牧駅近のO氏アトリエも使用させていただける様になりました。これから、少しずついろんな企画が実現されていくと思います。

⑨ コチドリ

チドリ目チドリ科チドリ属



コチドリ

2018年頃から、鶺鴒で見られなくなりました。

(野鳥図鑑他より)黄色いアイリングが目立つ

日本最小のチドリ類。夏鳥として、九州以北に渡来する。水田や河川付近など、主に淡水域の水辺に生息し、砂れき地や埋立地の地上に営巣する。主に地上を歩きながら昆虫類を捕食する。夏羽は頭長が褐色、顔は白黒模様で金色のアイリングが目立つ。胸から後頸に続くリング状の黒線がある。嘴は黒く短め。

⑩ オオタカ

タカ目タカ科ハイタカ属



オオタカ

2018年頃から、鶺鴒で見られなくなりました。

(野鳥図鑑他より)都市に適応したタカ

カラス大のタカ類。留鳥として九州以北に分布。平地から山地のアカマツ林などで繁殖し、農耕地などで越冬する。近年都市適応が進み、市街地で繁殖、越冬する例が増えている。主に、カモ類やキジバトなどを捕食するが、都市部の個体は公園や市街地のドバトを主食にしている。羽色から古名は「蒼鷹(あおたか)」

第10回 NO2 の測定を実施

12月7日(木)18時～8日(金)18時まで、第10回 NO2 測定を45か所で実施

五領・鶺鴒写真情報

2023年11月16日他

撮影：大倉清教氏

大倉氏は淀川河川敷の鳥を中心に五領地区の自然を撮影しておられます。氏のホームページには毎日のように写真が掲載されます。

以下の写真は、氏のFacebookより主に鳥の写真を転載させて載せております。

ホームページ : <https://www.facebook.com/Kiyonori.Ookura>



愛くるしいメジロ



今季初見のツグミ



久々のキジ、木に留まるところを初めてみました。



ミサゴ 狩りの瞬間



アオサギの飛翔



カワアイサ

発行 : 高槻・五領の環境と子どもの未来を守る会

代表 : 上田 博夫

住所 : 〒569-0003 大阪府高槻市上牧町1丁目3-17 上牧公民館内

電話番号 : 090-2283-1619 (村井)

ホームページ : <https://takatsukigoryo-mamorukai.jimdofree.com/>

編集部:今年もあとひと月ばかりになりました。1年があつという間に過ぎていきます。例えば、小学校の6年間のなんと長かった事か。確か、時間は絶対的なものでは無かった。10歳の子の1年は人生の1/10。私の1年は人生の1/80しかない。秋の夜長も感じなくなりませんか？

次回「守る会」定例会は2023年12月23日、第4土曜日

14:00~16:00、上牧公民館(上牧町本澄寺前)で開催します。

連絡は、事務局村井(masa569@tcn.zaq.ne.jp)(090-2283-1619)迄